

## 三重の土地改良アラカルト

### 団体営農業集落排水整備促進事業 比奈知地区の完成について

#### 【はじめに】

団体営農業集落排水整備促進事業 比奈知地区は名張市によって実施され、地域の要望であった処理施設が完成を迎えましたのでご紹介させていただきます。

名張市は三重県の西部、伊賀盆地の南西部に位置し、北は伊賀市、東は伊賀市及び津市、南から西にかけて奈良県に接する農山村地域の都市です。地域面積の約1/3が「室生赤目青山国定公園」に指定されており、市内には、名張川・宇陀川・青蓮寺川などの清流が流れ、木津川を経て淀川に合流し大阪湾に注いでいます。

本地区では、近年の農村社会における混住化の進展、生活様式の高度化等、農業農村を取り巻く状況の変化により農業用排水の汚濁が進行し、農作物の生育障害、土地改良施設の維持管理費の増大、悪臭の発生等の問題が生じていました。このため、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持及び、農村生活環境の改善を図ることを目的とし、あわせて名張川等の公共用水域の水質保全に寄与するよう、農業集落におけるし尿、生活雑排水を処理する施設、汚泥、処理水の循環利用を目的とした農業集落排水施設の整備を行うことになりました。

#### 【地区概要】

農業集落排水整備促進事業 比奈知地区

- ・ 施行年度： 平成23年度～平成30年度
- ・ 総事業費： 1,386,448,000円
- ・ 処理施設1棟（地下1階、地上1階の2階建て）、管路施設L=11,941m
- ・ 受益戸数 349戸
- ・ 事業実施主体： 名張市

平成23年から7年半をかけ完成した同施設は、農業集落排水施設としては名張市で11施設目となり、要望のあった地域では最後の処理施設です。

平成30年10月17日に竣工式がおこなわれ、式典に参加



竣工式

された地域の方から「生活改善や名張川の水質改善に期待したい。」と喜びの声が聞かれました。これも多くの関係者のご尽力の賜物と存じます。

#### 【おわりに】

市内にある11箇所の農業集落排水施設には、最も古い施設で供用開始後20年以上経過したものがあり、適正な日常管理を行っていても老朽化が著しく、突発的な故障が増加しています。今後、他の施設の老朽化により、維持管理費用の増加が予想され、既存施設の長寿命化、維持管理費を含むライフサイクルコストの低減、予算の最適化、安全性の確保、施設の健全化を図ることが重要となります。

このため、ストックマネジメントの手法を用いた施設の維持管理、更新が求められていることから、名張市においては、最後の施設が完成したばかりですが、今年度から3施設を対象として改築、改修を行う機能強化対策事業に着手されました。今後も他施設の機能強化対策事業が引き続き実施されることになると思われますが、農業集落排水施設の効率的な運営を図っていただければと思います。



処理施設



管路施設